

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【公表番号】特表2002-539807(P2002-539807A)

【公表日】平成14年11月26日(2002.11.26)

【出願番号】特願2000-607486(P2000-607486)

【国際特許分類】

A 2 3 K 1/16 (2006.01)

A 2 3 K 1/18 (2006.01)

A 2 3 L 1/30 (2006.01)

A 6 1 K 31/201 (2006.01)

A 6 1 K 31/231 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

【F I】

A 2 3 K 1/16 3 0 1 F

A 2 3 K 1/18 B

A 2 3 K 1/18 C

A 2 3 K 1/18 D

A 2 3 K 1/18 Z

A 2 3 L 1/30 Z

A 6 1 K 31/201

A 6 1 K 31/231

A 6 1 P 3/04

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 体重増加または飼料効率を低下させることなく動物の体脂肪を減少させる方法であって、前記方法は、家畜学的方法として、前記動物に、9 - シス，11 - トランス共役リノール酸および10 - トランス，12 - シス共役リノール酸の異性体を含有してなる組成物を投与することからなり、該組成物は、10 - トランス，12 - シス共役リノール酸異性体よりも多くの9 - シス，11 - トランス共役リノール酸異性体を含有してなることを特徴とする前記方法。

【請求項2】 前記異性体が飼料で動物に経口投与されることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】 前記異性体のうちの少なくとも1つを、該異性体の無毒の塩として、該異性体の活性エステルとして、またはそれらの混合物として投与することを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項4】 前記動物が、げっ歯類、哺乳動物または鳥類動物であることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項5】 前記哺乳動物が、ウシ、ヒツジ、ヤギまたは霊長類であることを特徴とする請求項4に記載の方法。

【請求項6】 前記鳥類動物が、ニワトリ、アヒル、シチメンチョウまたはウズラであることを特徴とする請求項4に記載の方法。

【請求項 7】 前記の 9 - シス， 11 - トランス共役リノール酸と 10 - トランス， 12 - シス共役リノール酸の異性体の比が、 1.5 : 1 以上であることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】 前記の 9 - シス， 11 - トランス共役リノール酸と 10 - トランス， 12 - シス共役リノール酸の異性体の比が、 2 : 1 以上であることを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】 前記の 9 - シス， 11 - トランス共役リノール酸と 10 - トランス， 12 - シス共役リノール酸の異性体の比が、 10 : 1 以上であることを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】 前記の 9 - シス， 11 - トランス共役リノール酸と 10 - トランス， 12 - シス共役リノール酸の異性体の比が、 20 : 1 以上であることを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】 9 - シス， 11 - トランス共役リノール酸および 10 - トランス， 12 - シス共役リノール酸の異性体を含む含有してなる組成物であって、前記の 9 - シス， 11 - トランス共役リノール酸と 10 - トランス， 12 - シス共役リノール酸の異性体が、 2 : 1 以上の比で存在することを特徴とする前記組成物。

【請求項 12】 前記異性体のうちの少なくとも 1 つが、該異性体の無毒の塩、該異性体の活性エステルまたはそれらの混合物であることを特徴とする請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 13】 前記の 9 - シス， 11 - トランス共役リノール酸と 10 - トランス， 12 - シス共役リノール酸の異性体が、 10 : 1 以上の比で存在することを特徴とする請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 14】 前記の 9 - シス， 11 - トランス共役リノール酸と 10 - トランス， 12 - シス共役リノール酸の異性体が、 20 : 1 以上の比で存在することを特徴とする請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 15】 体重増加または飼料効率を低下させることなく体脂肪を減少させるための薬学的または獣医学的組成物の製造における、 9 - シス， 11 - トランス共役リノール酸と 10 - トランス， 12 - シス共役リノール酸の異性体の 2 : 1 以上の比での使用。

【請求項 16】 前記の比が 10 : 1 以上であることを特徴とする請求項 15 に記載の使用。

【請求項 17】 前記の比が 20 : 1 以上であることを特徴とする請求項 16 に記載の使用。

【請求項 18】 前記異性体のうちの少なくとも 1 つが、該異性体の無毒の塩、該異性体の活性エステル、又はそれらの混合物であることを特徴とする請求項 15 に記載の使用。